

# Koka TIMES

— 心を磨き、技を極め、夢に挑む —



西日本トライアスロン選手権の知名さん

## 知名透真さんトライアスロンで3位入賞 商店街でプロジェクトマップ

- 石原教授「技術部門貢献賞」受賞
- 小中学生 DNA 実験
- 市民向け講座「アニメでまちおこし」
- 各センターからのお知らせ
- 2025年度(後期)行事予定表

編集/発行

愛知工科大学

愛知工科大学自動車短期大学

入試広報センター

〒443-0047

愛知県蒲郡市西迫町馬乗 50-2

TEL. 0533-68-1135

URL. <https://www.aut.ac.jp/>

## NEWS & TOPICS

### 石原教授、自動車技術会「技術部門貢献賞」受賞

機械システム工学科の石原裕二教授が、8月27日(水)、東京科学大学で開催された自動車技術会技術会議合同会議にて流体力学部門貢献賞を受賞しました。

本賞は部門委員会での活発な活動や貢献が認められた方に授与されるものです。授賞式では記念撮影が行われ、スクリーンには賞状とともに、石原教授がAUTヨット部の学生とセーリングを楽しむ様子が自己紹介として映し出されました。



### 名古屋市の笠寺観音商店街で魅せた光の演出

8月8日(金)・9日(土)、名古屋市港区にある笠寺観音商店街で行われた夏祭り「盆フェス 99000days」で、情報メディア学科の加藤研究室(加藤高明教授)がプロジェクションマッピングを実施しました。

ゲーム要素を取り入れた映像投影や映像と本物を組み合わせたシャボン玉演出で来場者を魅了し、地域をテクノロジーで盛り上げました。



### 出張講義「アニメでまちおこし！」開催

7月12日(土)、情報メディア学科の手塚一佳准教授が蒲郡市民会館で「第1回愛知工科大学出張講義 アニメでまちおこし! ~デジタルエンタメの世界~」を実施しました。

7歳から70歳代までの市民約80人が参加し、アニメ業界の実情やCG制作の仕組みを豊富な映像素材を交えて紹介しました。実際に大学で行われている授業内容を市民に体感いただく貴重な機会となり、多くの参加者から好評を得ることができました。



### MIRU2025 で共同研究成果を発表

7月29日(火)~8月1日(金)、国立京都国際会館で開催されたMIRU2025にて、情報メディア学科の久徳研究室の大学院生2名が中京大学や理化学研究所と進めた研究成果を発表しました。さらに2024年度卒業生の研究成果についても共著者らにより代理発表が行われました。

- 松浦 璃久さん：可視光カメラ用歩行者検出器の動作信頼度推定における3次元周辺環境特徴の併用に関する検討
- 高津 悠生さん：三次元点群地図に基づく鳥瞰反射強度画像とカメラ画像間の局所特徴照合による自転車位置推定の検討
- 神谷 合音さん：推し活アクスタ写真のための魅力的な構図選択手法の検討

### 小・中学生がDNA実験に挑戦!

8月19日(火)、小・中学生向け講座「岐阜大学アントレプレナーシップ・サイエンス~生命科学教室~」(岐阜大学主催)が開催され、電子ロボット工学科の田中俊行准教授が講師として参加しました。

本講座では、DNAの取り出し実験を通じて、DNA・たんぱく質・糖鎖・細胞など、生命科学の基礎を楽しく学びました。さらに最先端のバイオテクノロジーを活用するバイオスタートアップ・ベンチャー企業の最新事例も紹介され、子どもたちの興味を大きく引き出しました。

当日は、参加した小・中学生全員がDNAの取り出しに成功し、会場は歓声と笑顔に包まれ、大盛況のうちに終了しました



### 「電音部」ライブ開催

6月15日(日)、本学4号館4301講義室にて、電音部(De N on Boo!)によるライブが行われました。今年度は1年生が中心となり、はじめて楽器に挑戦する学生も多いなか、3年生の藤田部長やOBの支援を受けながら練習を重ね、その成果を披露しました。

当日は「電音部OBバンド」に加え、東海地区で活躍するアコースティックトリオ「orange blossom」やゲストのサクソ奏者も出演。迫力ある演奏に学生たちは大きな刺激を受けました。

電音部は音響・ライティング同好会と連携し、演奏だけでなくイベントづくりも行っており、秋の大学祭に向けて意欲的に取り組んでいます。



## 材料力学を体感！紙でつくるビームの実験

機械システム工学科では、初年次教育の一環として「ペーパービームコンテスト」を毎年実施しています。紙だけでつくる梁の強度を競い、直感とアイデアで試作を重ねます。材料力学の基本を学ぶと設計力が向上し、強いビームが完成。理論の実践的意義とモノづくりの楽しさや学びの喜びを体感できる貴重な授業です。



## AUT ロボコン 2025 論理と工夫で競う初年次授業

電子ロボット工学科1年生の授業「教物基礎・同演習」では、数学や物理の知識を道具として活用する力を養うため、LEGO® Education SPIKEを使った「AUT ロボコン」を開催しました。

6チームが4つの競技で得点を競い、速さや正確性を評価。各チームは学んだ知識と工夫を凝らして挑み、白熱した大会となりました。



## 情報メディア学科 新入生歓迎イベント開催

情報メディア学科では、6月15日(火)に新入生歓迎を兼ねたレクリエーションイベントを開催しました。

お菓子を食べながらクイズやビンゴ大会を楽しみ、学年を越えての楽しいひとときとなりました。



## 高大連携授業 多彩な体験学習を提供

9月12日(金)、愛知県立一色高等学校情報ビジネスコース2年生を対象に、高大連携授業を実施しました。

「iPhone じゃんけんアプリづくり」や「3DCAD モデリング体験」に加え、コンテンツ制作スタジオでの「プロジェクトマッピング体験」、次世代自動車システム研究所での「高速道路運転模擬体験」など、多彩で充実した学びの機会を提供しました。



## 西日本学生トライアスロン選手権で3位

6月8日(日)、広島県尾道市で開催された西日本学生トライアスロン選手権に、自動車工業学科1年の知名透真さんが出場し、3位に入賞しました。

スイム1.5kmを26分17秒で通過後、バイク40kmは57分5秒で区間1位。最終のラン10kmを経て総合タイム2時間1分55秒。日本学生選手権観音寺大会出場権を獲得しました。



## 1年生のための技術講習会 輸入車・大型トラック・ヨタ車を体験

### ■輸入車の魅力を体感

7月15日(火)、「ADW輸入車講習会」が開催されました。ADWホールディングス(株)の協力により、ベントレー、アウディ、フォルクスワーゲンなど6台の輸入車が持ち込まれ、座学と体験実習を通して整備技術を学びました。学生からは「日本車にはない雰囲気や圧倒された」「普段触れない装具を見られてよかった」との声が寄せられ、貴重な学びの機会となりました。



### ■迫力の大型車を学ぶ

7月16日(水)、「三菱ふそうトラック講習会」が開催されました。三菱ふそうトラック・バス(株)の協力により、エアドライヤやピストンの組付け実習、スーパーグレード(ウイングボデー)の実車を用いた構造説明や運転席操作などを体験。学生たちは大型トラックならではの構造や整備の視点を学び、普段触れることの少ない迫力ある実車に学生たちは刺激を受け、トラックへの関心を高める貴重な機会となりました。



### ■トヨタの最新技術に触れる

7月17日(木)、「トヨタ乗用車講習会」が行われました。(株)ATグループの協力により、FCEV ミライ、レクサス(LM、LBX)、クラウン各種、GR ヤリス、AE86、全日本ラリー車両など計11台の実車が登場。トヨタ自動車が誇る先進構造や最新技術を座学と体験実習を通して学びました。最新車種や電動車両に直接触れ、学生たちは国産乗用車の技術革新やモータースポーツ車両の魅力に強い関心を示していました。



## INFORMATION

## 学務課

## ○学生情報閲覧ポータルサイト

保護者への情報提供サービスとして、学生情報閲覧ポータルサイトを運用しております。

このサービスは、保護者がパソコンやスマートフォンなどでご子息・ご息女の出欠状況、成績表や履修状況の把握にお役立ていただくためのものです。

ご利用方法については、新入生の保護者へは5月に、その他の保護者へは10月にご案内しているところです。ぜひ、ご活用ください。

## ■サービス内容

【出欠状況】履修科目の出欠状況が確認できます。

【成績表】履修科目の成績や単位の取得状況が確認できます。

【履修状況】履修にもとづく時間割表が確認できます。

## ■2025年度奨学金等新規採用者数実績（9月17日現在）

奨学金等の種類	大学院	大学	短大	
日本学生支援機構奨学金（給付） 高等教育修学支援制度（減免）	第Ⅰ区分	—	4	2
	第Ⅱ区分	—	2	1
	第Ⅲ区分	—	0	3
	第Ⅳ区分（多子）	—	24	9
日本学生支援機構奨学金（貸与）	第Ⅳ区分（理工農系）	—	3	5
	第一種	4	8	6
	第二種	0	18	12
授業料免除	1	14	12	
教育ローン利子補給奨学金	0	0	0	
ファミリー奨学金	—	2	7	
学修奨学金	—	18	3	

## 事務局

愛知工科大学および愛知工科大学自動車短期大学は、文部科学省所管の大学法人であることから、私立学校法を遵守することを基本としています。

令和6（2024）年度決算が承認されたことから、この法令にもとづいた財務状況についてお知らせします。なお、これらの財務情報は本学のホームページでも確認できます。

## 監査報告書

学校法人電波学園  
理事会 御中  
評議員会 御中

令和7年5月13日

学校法人電波学園

監事 岡本勉  
監事 小島啓明

私たち学校法人電波学園の監事は、私立学校法第37条第3項及び学校法人電波学園寄附行為第15条に基づき、学校法人電波学園の令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）の学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査いたしました。

監査の方法は、理事会及び評議員会に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決算書類等を閲覧し、主要な関係部署において業務及び財産の状況を調査し、計算書類につき検討を加える等、私たちが必要と認めた監査手続きを実施しました。

監査の結果、学校法人電波学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

資金収支計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで (単位:円)

収入の部

大 科 目	法人全体	愛知工科大学	愛知工科大学 自動車短期大学
学生生徒等納付金収入	6,408,021,347	730,092,000	179,555,000
手数料収入	52,427,500	7,648,200	2,183,900
寄付金収入	37,670,204	5,016,704	1,088,000
補助金収入	872,578,656	43,574,173	18,914,840
資産売却収入	2,051,099,940	0	0
付随事業・収益事業収入	1,094,349,382	52,874,023	20,466,403
受取利息・配当金収入	1,746,962,652	69,771	50,923
雑収入	397,688,789	19,670,116	9,692,691
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,842,956,282		
その他の収入	4,558,623,138		
資金収入調整勘定	△ 2,047,622,073		
前年度繰越支払資金	15,759,071,453		
収入の部合計	32,773,827,270	858,944,987	231,951,757

支出の部

大 科 目	法人全体	愛知工科大学	愛知工科大学 自動車短期大学
人件費支出	5,009,620,788	661,010,942	203,746,949
教育研究経費支出	1,261,711,718	209,246,800	55,088,297
管理経費支出	1,539,458,231	181,813,848	51,083,459
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	233,124,912	0	0
設備関係支出	262,676,460	26,608,021	3,778,210
資産運用支出	4,097,078,524		
その他の支出	4,894,915,275		
資金支出調整勘定	△ 538,021,350		
翌年度繰越支払資金	16,013,262,712		
支出の部合計	32,773,827,270	1,078,679,611	313,696,915

事業活動収支計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで (単位:円)

教育活動収支	事業活動収入の部	大 科 目	法人全体	愛知工科大学	愛知工科大学 自動車短期大学
		学生生徒等納付金	6,408,021,347	730,092,000	179,555,000
		手数料	52,427,500	7,648,200	2,183,900
		寄付金	2,247,259	976,705	0
		経営費等補助金	828,743,656	43,574,173	18,914,840
		付随事業収入	1,094,349,382	52,874,023	20,466,403
		雑収入	244,288,579	19,678,316	9,692,691
		教育活動収入計	8,630,077,723	854,843,417	230,812,834
事業活動支出の部	事業活動支出の部	大 科 目	法人全体	愛知工科大学	愛知工科大学 自動車短期大学
		人件費	4,875,057,697	653,165,112	199,287,639
		教育研究経費	2,289,484,968	372,497,250	115,074,946
		管理経費	1,764,834,523	195,987,017	56,468,458
		徴収不能額等	2,308,957	220,610	677,782
		教育活動支出計	8,931,686,145	1,221,869,989	371,508,825
教育活動収支差額	△ 301,608,422	△367,026,572	△ 140,695,991		

特別収支	事業活動収入の部	大 科 目	法人全体	愛知工科大学	愛知工科大学 自動車短期大学
		資産売却差額	770,675,938	0	0
		その他の特別収入	98,411,726	14,453,787	1,998,000
		特別収入計	869,087,664	14,453,787	1,998,000
事業活動支出の部	事業活動支出の部	大 科 目	法人全体	愛知工科大学	愛知工科大学 自動車短期大学
		資産処分差額	304,078,490	805,949	11
		その他の特別支出	333,785	0	0
		特別支出計	304,412,275	805,949	11
特別収支差額	564,675,389	13,647,838	1,997,989		

基本金組入前当年度収支差額	2,158,784,893	△ 353,308,963	△ 138,647,079
基本金組入額合計	△ 7,853,467,327	△ 551,733,933	△ 238,670,220
当年度収支差額	△ 5,694,682,434	△ 905,042,896	△ 377,317,299
前年度繰越収支差額	8,089,355,038		
基本金取崩額	22,262,901		
翌年度繰越収支差額	2,416,935,505		

教育活動外収支	事業活動収入の部	大 科 目	法人全体	愛知工科大学	愛知工科大学 自動車短期大学
		受取利息・配当金	1,746,962,652	69,771	50,923
		その他の教育活動外収入	178,233,704	0	0
		教育活動外収入計	1,925,196,356	69,771	50,923
事業活動支出の部	事業活動支出の部	大 科 目	法人全体	愛知工科大学	愛知工科大学 自動車短期大学
		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	29,478,430	0	0
		教育活動外支出計	29,478,430	0	0
教育活動外収支差額	1,895,717,926	69,771	50,923		
経常収支差額	1,594,109,504	△ 366,956,801	△ 140,645,068		

(参考)

事業活動収入計	11,424,361,743	869,366,975	232,861,757
事業活動支出計	9,265,576,850	1,222,675,938	371,508,836

## ■図書館

昨年よりはじめた本学と蒲郡市立図書館とのコラボ企画を、今年度は実験・体験ができる「サイエンスひろば」とし、夏休み期間中の小・中学生を対象に4講座を開講しました。

- 第1回「これはマジック？目には見えない磁力のフシギ」  
講師：小川 和輝 助教（電子ロボット工学科）
- 第2回「光の不思議 虹色の宝石を作ろう」  
講師：近藤 敏彰 教授（機械システム工学科）
- 第3回「パソコンの自動操作に挑戦！」  
講師：館 宜伸 准教授（情報メディア学科）
- 第4回「わたしたちの空気はキレイ？」  
講師：藪下 彰啓 教授（電子ロボット工学科）



これらの講座は、実験や体験を通じて工学のおもしろさを子どもたちに伝える人気講座でした。このほかにもイベントを企画しています。みなさま図書館を様々な形でご利用ください。

## ■総合教育センター

### ■「AUT 教育入門」工場見学でモノづくりの現場を体験

今年度の「AUT 教育入門」では、学生たちが実際の生産現場を訪問する工場見学を行いました。見学先は、(株) 鈴木化学工業所、パナソニック住宅設備 (株)、(株) 近藤鐵工所、(株) カンドリ工業、(株) ニデック、竹本油脂 (株) の6社に分かれて実施。各現場で最新の技術や製造工程を間近に見学することで、モノづくりへの理解を深めました。

学生たちは積極的に学びの姿勢を示し、将来の学修や進路を考えるうえで大きな刺激となる貴重な機会となりました。

### ■基礎教育部門の取り組み

基礎教育部門では「プロダクトデザイン」、「現代経済」、「哲学」などで新任教員を迎え、内容を一新しました。従来と同じ科目名でも、新鮮で刺激的な学びが期待できます。

また、ホール棟2階の総合教育センターでは、個別指導を実施中です。授業や自主学習での疑問解消に最適です。ぜひ活用してください。

## ■ものづくり工作センター

ものづくり工作センターは、学生の卒業研究やクラブ活動を支援する実習拠点として、多くの学生が技術と創造性を育む場となってきました。専属のスタッフが常駐し、専門的な指導のもと、多様な工作機械を使った試作・加工を通じて、実践的な技術力の向上に貢献しています。

今後はこれまでの実績を活かし、地域社会や産業界との連携をさらに強化します。地域企業との共同研究や社会人向けの教育プログラム、スタートアップ企業の試作支援など、大学の枠を超えた「地域に開かれたものづくり拠点」として、産学官連携を推進していきます。

次世代を担う人材の育成と、持続可能な社会の発展に貢献します。

## ■キャリアセンター

### ■インターンシップを実施

工学部では、夏期休暇期間を利用した「単位付与型インターンシップ」を実施しました。このインターンシップは、5日間以上の就業体験をともなう実習として位置づけられています。

今年度は3年生50名以上が参加し、単位申請を希望する学生は、10月の報告会で体験した内容を発表する予定です。

また、1日完結型の「オープンカンパニー」や「仕事体験」も業界研究・企業研究や自分のキャリアを考えるうえで有効であるため、積極的に参加するよう呼び掛けています。

### ■大学の就活状況

近年の就職活動は「早期化」、「長期化」がますます進んでいます。3年生の春夏インターンシップからはじまり、秋には早期選考。冬は改めて就活解禁があるため、そこから選考をはじめめる企業も多く、10月の内定解禁日に向けて採用活動は続きます。学生によっては2年次後期から活動を開始し、長くて1年半もの月日を費やして自分にあった企業選びを行う者もいます。

10・11月には、3・4年生対象の「学内個別企業研究会」を開催します。4年生で就職活動を継続している学生や3年生で夏のインターンシップに参加できなかった学生、もっと企業研究をしたいという学生に参加を呼び掛けています。

### ■短期大学の就活状況

就職先として自動車販売会社を希望する学生が多数を占めますが、最近では自動車メーカーや部品メーカー、自動車機構やレーシングチームなどを目指す学生もおり、多様性が感じられます。

現在の2年生は留学生在が3割を占めています。日本人学生同様に前向きな学生が多く、積極的に就職活動に取り組む姿勢が見られました。12月の学内企業説明会から活動をはじめ、現在ではすべての留学生在が内定を獲得しています。

キャリアセンターでは一人ひとりに向きあい、納得いく就職活動ができるよう、就職相談や面接練習などで学生の支援を続けています。

## ■メディア基盤センター

近年、不正アクセスを目的としたID・パスワードを盗む行為が世界中で頻発しています。本学でもセキュリティリスク軽減のため、2026年1月1日からGoogle Workspaceに多要素認証を必須化します。多要素認証は、アカウント名とパスワードでの認証に加えて別の要素での認証を行うことで、なりすましなどの不正アクセスを軽減できる手法です。多要素認証が設定されていない方は、ログイン時に設定をうながすメッセージが表示されますので、Google Workspaceのログインでパスワード入力後、追加認証の要求画面が表示された段階で、携帯電話のSMSや認証アプリなどの設定をしてください。12月末までに設定が完了していない場合、ログインができなくなります。メディア基盤センター入ロカウンター横に設定マニュアルを用意しています。お困りの際はお役立てください。

# 研究室訪問

— 電子ロボット工学科 磯貝研究室 —

## 1. はじめに

本研究室では振動工学と制御工学の応用として、主にマイクロロボット、惑星探査ローバ、BMIのテーマで研究を行っています。今回は、この3つの研究テーマのうち、マイクロロボットと惑星探査ローバの研究について紹介します。

## 2. マイクロロボットの研究

マイクロロボットというロボットを聞いたことはありますか。マイクロロボットとは、大きさが通常のロボットよりも小さいロボットのことで、マイクロロボットのメリットとしては、人間や通常のサイズのロボットでは入っていけないような狭い空間に入って行って作業をすることができることです。具体的な応用例としては、次の2つがあります。1つ目は、地震などの災害で倒壊した建物のガレキの隙間に入って行って生存者を捜索することが期待されています。2つ目は、人間の体の中に入って行って、病気を調べたり、治したりすることです。本研究室では、これまでに、マイクロロボットのコンテストに参加することを目標としてマイクロロボットの開発を行ってきました。国内で行われているマイクロロボットに関するコンテストは次の3つがあります。

- (1) 国際マイクロロボットメイズコンテスト
- (2) 国際マイクロメカニズムコンテスト
- (3) マイクロロボコン

本研究室でこれまでに参加してきたコンテストは、国際マイクロロボットメイズコンテストです。このコンテストは、毎年12月上旬に名古屋大学で開催されています。しかしながら、残念なことにコロナ渦から開催が中止されており、現在も担当者の都合によりコンテストは行われていません。

現在、本研究室で開発しているマイクロロボットの1つを紹介します。国際マイクロロボットメイズコンテストには、いくつかのカテゴリ(競技)がありますが、大きさが1cm角のマイクロロボットのカテゴリ0に参加することを目標として、電磁式のマイクロロボットを開発しています。このマイクロロボットの特徴は、ワイヤレスでマイクロロボットを操縦できることです。従来の1cm角のマイクロロボットは、ほとんど、エネルギーと制御信号をワイヤを通して供給していました。ワイヤがあると、マイクロロボットの自由な走行を妨げるといった問題がありました。本研究室で開発したワイヤレスでマイクロロボットの走行を制御できることは画期的なことです。開発したマイクロロボットの写真を図1に示します。大きさが、10mm×11mm×12mmで、目標とする1cm角に到達していません。現在、1cm角になるように研究を進めています。

## 3. 惑星探査ローバ

ローバについて聞いたことはありますか。ローバとは、月や火星などの惑星の地上を移動して、地質調査などを行う移動ロボットのことです。磯貝研究室では、惑星探査ローバの誘導に関する研究を

## Profile

**磯貝 正弘**  
准教授・博士(工学)

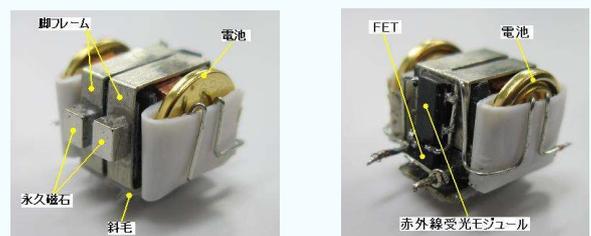
[専門] 振動工学/制御工学  
ロボティクス/メカトロニクス  
[経歴] ヤマザキマザック(株)



を行っています。基地局からローバが分離して移動し、地質調査などのミッションを行った後に、基地局に帰還する場合の誘導方法について研究しています。誘導方法の原理は以下の通りです。基地局とローバ本体にマイクロ波ドップラーセンサを設置します。基地局からマイクロ波ビームをローバに向けて放出します。ローバはマイクロ波ビームの強度の境界線を検出し、ライトレースの方法でマイクロ波ビームの強度の境界線に沿って蛇行しながら基地局に向かっていきます。誘導の原理を図2に示します。これまでに、ローバ本体と基地局の1号機と2号機の試作機を作成しました。1号機の実験では、大学のグラウンドで基地局から、70m離れた地点から基地局まで誘導することができました。2号機の実験では、1号機の誘導の実験と合わせて、窪地を回避する実験を行い、窪地を回避することに成功しました。今後の課題は、誘導と窪地回避を連動させるような方法について研究することです。

## 4. おわりに

現在、マイクロロボットの研究は災害地で使用することよりも、若い世代の生徒や学生ためのロボット教育用教材の開発を目標に研究を行っています。惑星探査ローバの研究は、将来、本研究室で開発した誘導の方法が宇宙で活用されることを期待しています。



(1) 前から見たところ (2) 後ろから見たところ  
図1 ワイヤレスリモートコントロール型マイクロロボット

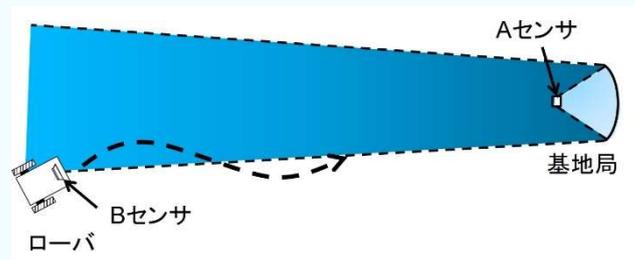


図2 惑星探査ローバの誘導の原理

# 2025年度（後期）行事予定表（10月～3月）

※学内における諸事情などにより、予定を変更することがあります。

## 大学

行事		日程
10月	学内個別企業研究会	7日（火）、8日（水） 15日（水）、21日（火） 22日（水）、29日（水）
	防災訓練	10日（金）
	大学祭	11日（土）
	インターンシップ報告会	28日（火）
11月	学内個別企業研究会	4日（火）、5日（水） 11日（火）、12日（水）
12月	1級課程 学内企業説明会	4日（木）、5日（金）
	学生冬期休業	25日（木）～
1月	学生冬期休業	～6日（火）
	定期試験	22日（木）～30日（金）
2月	4年 卒論提出期限	4日（水）
	学内合同企業研究会	5日（木）、6日（金）
	成績発表	6日（金）
3月	4年 卒業研究発表会	13日（金）
	4年 卒業判定結果発表	3日（火）
3月	卒業証書・学位記授与式	14日（土）

## 短期大学

行事		日程
10月	防災訓練	10日（金）
	大学祭	11日（土）
	1年 CS教育講座	17日（金）
11月	1年 面接指導	7日（金）
12月	1年 学内企業説明会	4日（木）、5日（金）
	2年 定期試験	11日（木）～15日（月）
	2年 成績発表	18日（木）
1月	学生冬期休業	25日（木）～
	学生冬期休業	～6日（火）
	1年 定期試験	20日（火）～23日（金）
2月	1年 成績発表	29日（木）
	2年 卒業判定結果発表	13日（金）
3月	卒業証書・学位記授与式	14日（土）
	2年 国土交通省自動車整備技能登録試験	22日（日）

## 大学院

行事		日程
10月	防災訓練	10日（金）
	大学祭	11日（土）
	インターンシップ報告会	28日（火）
11月		
12月	学生冬期休業	25日（木）～
1月	学生冬期休業	～6日（火）
	博士：論文審査申請期限	9日（金）
	博士：審査会・公聴会	15日（木）
2月	修士：論文審査申請期限	23日（金）
	修士：審査会・公聴会	12日（土）
3月	卒業証書・学位記授与式	14日（土）



### キャンパスの様子を配信

アプリをインストールしなくても見ることができます



TikTok 愛知工科大学





TikTok 愛知工科大学自動車短期大学

